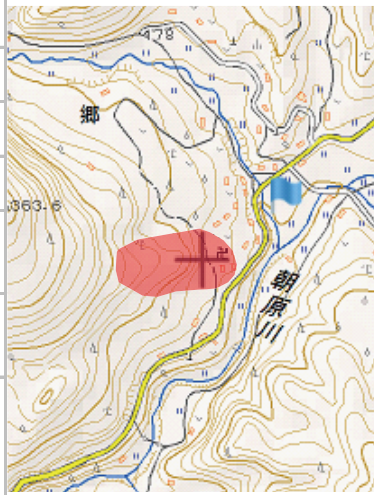
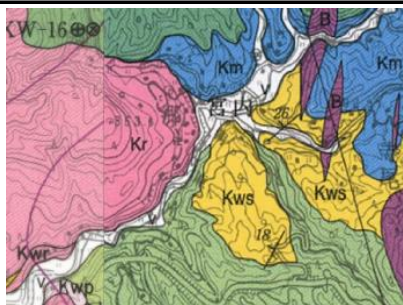


地質サイトカード

カードNo.		C-⑥-5	通しNo.	47	作成日	2024/7/19		
サイト名		冷風を吹き出す崖錐 ^{がいきすい} ～八雲風穴 ^{やくもふうけつ}						
基本情報	エリア	南部丘陵地 探訪サイト						
	区分	☒ 地質・地形		☐ 生態	☒ 文化			
	利用価値	☒ 科学		☒ 教育	☒ 観光・ツアー			
	所在地	出雲市佐田町朝原1671-1						
	アクセス	山陰道 出雲ICから約18km、約30分。						
	周辺施設	☒ トイレ ☒ 売店 ☒ 飲食店 ☒ 駐車場(30台) ☒ ウォーキングコース ☐ サイクリングコース ☒ 観光施設(出雲須佐温泉ゆかり館)						
	看板整備	現地には説明看板がある						
留意点	一般公開はゴールデンウィーク中および7月～9月上旬。 風穴は現在も低温貯蔵庫として利用されている。夏季は一般公開され、1万人以上の観光客が訪れる。				位置情報	b-5		
保護・保全	法規制・関連団体等	八雲風穴活性化グループ風太郎						
	保全メモ							
サイトの解説	みどころ	流紋岩起源の崖錐から約10℃の冷気が噴出する「天然冷蔵庫」。						
	地質・地形	八雲風穴は清涼山山麓に位置し、径20～30cm程度の岩屑が厚く堆積した斜面から夏季に冷気が噴出する崖錐性の風穴である。その温度は風穴建屋1階で10℃前後、地下3階で5℃前後で推移し、3月～10月頃まで低温を維持している。10月～2月末は外気温と連動する。岩屑のもととなった清涼山の母岩は約1600万年前の久利層の斜長石流紋岩溶岩で、海底に噴出した溶岩ドームを構成するものである。 風穴の直下に湧き出る湧水は「福寿水」として島根名水100選に選ばれており、また簡易水道の水源として利用されている。						
	歴史・文化 生物・生態等	八雲風穴はその低温特性を活かし、明治36年頃から蚕種の低温保存施設として利用が開始された。それ以降、昭和にかけて地域の養蚕業の発展に大きく貢献した。現在の地下3階建の建造物は昭和60年に建造され、主に林業物等の貯蔵庫として利用されている。また、夏季には観光施設として一般開放もされている。						
写真・図等								
	参考文献	島根地質百選、訪ねてみたい須佐の郷・伊秩の郷(須佐語り部の会)						